

生徒がつくり、自ら学ぶ社会科学習

- 情報機器の効果的な活用 -

上柴中学校

1 情報機器活用の意図・情報教育の視点

資料の提示や観察のみになりがちな「身近な地域」という単元において、単なる観察だけでなく、デジタルスチルカメラを利用し、その景色を撮影・保存し、印刷させるという手法で、生徒の主体性を育ませていく。また、生徒の情報収集能力と、その情報を取捨選択し表現する能力を養うことにもなる。

情報教育の目標である「情報活用の実践力」を目指し、さらに中学校新学習指導要領の「社会」では、内容の取り扱いにおいても、「地域に関する情報の収集、処理に当たっては、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的に活用するなどの工夫をすること。」とある。そこで、新しい教育の在り方を取り入れた授業実践をおこなった。

2 単元名 身近な地域（第2学年 社会科地理的分野）

3 単元の目標

- ・ 観察や調査などの活動を通して、自分たちが生活している土地に対する理解と関心を深めさせ、生徒の地域に対する愛情を育む。
- ・ 観察や調査などの活動を通して、自分たちが生活している土地の地域的特色をとらえる視点や方法を身に付けさせる。
- ・ 読図や作図、景観の読み取りなどの地理的技能および地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身につけさせる。

4 授業の流れとポイント

時間	学 習 活 動	・教師の支援（配慮事項） * 評価の観点	活動場所・資料等
8分	「身近な地域」の学習の進め方を確認する。 深谷市や上柴地区に関する事前アンケート結果を確認する。	* 「身近な地域」の学習に興味・関心を持つことができたか。 ・ 生徒に予想させながら進める中で、身近な地域に関する自分たちの実態を意識させる。	視聴覚室（4F） アンケート結果
2分	上柴中学校から見える景色の中から上柴地区やその周辺の特徴を見つけよう。 本時の課題と活動の流れを確認する。	・ 景観から特徴を見つけるときの視点をアドバイスする。 * 本時の課題と活動の流れを確認することができたか。	
10分	4Fフロアやベランダに移動し、そこから見える景色から、上柴地区やその周辺の特徴をあらわしている景色を1つ選びデジタルカメラで写真に撮る。	・ デジタルカメラは3～4人で一台を使用させ、一人に一枚のフロッピーディスクを渡す。 ・ それぞれの場所を回り、特徴が見いだせない生徒などに適宜支援を行う。 * 景観から地域的特色をあらわす事象を意欲的に見つけることができたか。	4F707・ベランダ デジタルカメラ フロッピーディスク

10分	<p>デジタルカメラで撮った写真をプリントアウトする。</p> <p>ワ - クシ - トに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真の場所を地図にマ - ク。 ・ その写真を撮った理由。 ・ その写真からわかる上柴地区やその周辺の特徴。 ・ その写真からどんなことを調べてみたいと思うか。(疑問) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリントアウトに際しては、技術・家庭科教諭の支援をあおぐ。 ・ 時間的に個人差が出てくるのが予想されるので次の課題も用意しておく。 ・ 生徒の視点がどんな所にあるのか、撮った写真やワ - クシ - トから確認しておく。 <p>* 景観から地域的特色をあらわす事象を見いだすことができたか。</p>	<p>コンピュータ室</p> <p>プリンタ</p> <p>ワークシート</p>
15分	<p>発表する写真を深谷市全図に場所を確認して貼っていく。</p> <p>各自が景色から見つけた上柴地区やその周辺の特徴をあらわす景色と、その理由、そこからわかる上柴地区やその周辺の特徴を発表し合う。</p>	<p>* 各自が景色から見つけた上柴地区やその周辺の特徴をあらわす景色と、その理由、そこからわかる上柴地区やその周辺の特徴を共有化することで、景観からわかる地域的特色をつかむことができたか。</p>	<p>深谷市全図</p> <p>写真</p> <p>コンピュータ</p>
5分	<p>深谷市の中で最も高い場所(ダイアパレス)からの景色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地図で場所を確認する。 ・ 東西南北に見える景色から大まかな深谷市の全景をとらえる。 <p>次時の課題(深谷市の他地域との景観比較)を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上柴地区の景観から深谷市の他地域の景観へと目を向けさせる。 <p>* 次時の課題を確認することができたか。</p>	<p>ビデオ映像</p>

備考

円滑な授業の展開を図るため、視聴覚機器やコンピュータなどの操作や指導を技術・家庭科教諭に依頼する。

5 生徒の活動の様子、感想



「デジカメで撮るのが楽しかった。」「こんな授業なら何回やってもいい。」という感想が授業後に多く聞かれた。